

知事記者会見の概要

日 時：令和6年10月31日(木) 10:00～10:38

場 所：502会議室

出席記者：11名、テレビカメラ5台

1 記者会見の概要

広報広聴推進課長開会の後、代表・フリー質問があり、知事が答えて閉会した。

2 質疑応答の項目

代表質問

- (1) 衆議院議員選挙の結果について

フリー質問

- (1) 衆議院議員総選挙における本県の投票率について
- (2) 山形大学の教育学部再設置方針について
- (3) 代表質問に関連して
- (4) 女川原子力発電所2号機の再稼働（原子炉起動）について

☆報告事項

知事

皆さん、おはようございます。そろそろ紅葉の美しい季節となってまいりました。

始めに米について申し上げます。一昨日、農林水産省から、9月30日現在の令和6年産米の検査結果が公表されました。それによりますと、山形県産米の一等米比率が95.0%となって、全国第3位となりました。

品種別にみますと、「つや姫」が98.3%、「雪若丸」が98.9%、「はえぬき」が94.4%となっています。検査数量1万トン以上の産地品種銘柄別では、本県の「雪若丸」が全国第1位となりました。

昨年産米が、一等米比率43.2%と本県は大幅に低下して、大変心配をしていたわけでありませう。それで、今年産につきましては、土づくりやきめ細やかな肥培管理など、気候変動に負けない米づくりを関係機関と連携して進めてきたところですよ。その結果、このような高い一等米比率につながりました。ひとえに生産者の皆様のご努力の賜物と考えております。

今年は、大変品質も良いですし、おいしいお米ができております。山形のお米を楽しみにしている多くの皆様には是非、たくさん召し上がっていただきたいと思っております。

次に、第23回全国障害者スポーツ大会が、今月の26日から28日まで、佐賀県を会場に開催されました。本県の選手団の皆さん、大変活躍してくれました。

陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスクの5つの競技に出場して、金メダル16個、銀メダル6個、銅メダル3個と合計25個のメダルを獲得してくださいました。

金メダルの獲得数は、宮城県とともに、山形県が東北では最多でありました。素晴らしい成績だったと思います。中でも、陸上競技では、戸田夏輝選手が2種目におきまして、大会新記録で金メダルを獲得されました。本当に快挙だと思っております。

本県選手団の活躍は、県民に元気と活力をもたらしてくれました。今後も選手団の皆さんが、それぞれの競技で、より一層活躍していただくことを心から期待しております。

次は、「高齢者交通死亡事故警報」の発令についてです。

10月21日から28日までの間に、県内で高齢者が関係する交通死亡事故が3件発生しました。

このため、県では10月29日から11月4日までの7日間、高齢者交通死亡事故警報を発令し、高齢者をはじめ、県内の皆様に、車の運転や道路の横断の際の安全確認の徹底など、注意を呼びかけているところです。

家庭や職場でお互いに声を掛け合いながら、交通事故に十分注意していただきたいと思いません。

また、11月1日から10日までの10日間は、「高齢者の交通事故防止推進強化旬間」でございます。これを実施いたします。

さらに日没が早まるこれからの季節は、例年、夕暮れ時から夜間にかけての交通事故が増える傾向にありますので、「夕暮れ時以降の交通事故防止」を重点に掲げ、活動を展開してまいります。

運動期間中、各市町村や関係機関・団体等と連携しながら、早めのライト点灯、そして夜光反射材の着用、飲酒運転の撲滅などに取り組んでまいりますので、県民の皆様の御協力をよろしくお願いいたします。

それからですね、11月は、こども家庭庁が定めた「オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン」期間です。本県でも、社会全体で児童虐待防止の気運を高めるため、「山形県オレンジリボンキャンペーン」として、期間中、オリジナルCMをテレビとYouTubeで放映します。そのほか、モンテディオ山形と連携して、11月10日のホームゲームにおきましてPRするなど、啓発活動を実施いたします。

県民の皆様には、子どもと子育て家庭を見守っていただくとともに、虐待かもしれないと思ったら、ためらわずに児童相談所虐待対応ダイヤル「189」（いちはやく）に電話していただきますようお願いいたします。

また、11月12日から25日までの2週間は、内閣府が定めた「女性に対する暴力をなくす運動」期間です。本県でも、女性に対する暴力のない社会の実現をめざし、暴力を許さないという意識を社会全体で醸成するため、「パープルリボンキャンペーン」として、文翔館や上山城などでのパープルライトアップや男女共同参画センター「チェリア」でのDV防止講座なども行います。

県民の皆様にも、身近に暴力に悩む女性がおられましたらば、お声をかけて、DVの相談は「#8008」（はれれば）、そして性暴力の相談は「#8891」（はやくワンストップ）への電話を促すなどして下さるようお願いいたします。

記者クラブの皆様にも、これらのキャンペーンの啓発に御協力くださいますようお願いいたします。

私からは以上です。

☆代表質問

記者

時事通信の海老沼です。よろしくお願いします。

先日行われた衆院選の結果についての質問なんですけれども、知事コメントも出していただいたんですが、あらためて、全体的な結果と県内の結果、それぞれどのように受け止めているか、教えていただけないでしょうか。

知事

まずもって、衆議院議員総選挙で当選されました皆様方に、心からお祝いを申し上げます。

全体的に見ますと、与党にとって厳しい結果になったということは、これは国民の判断であり、その国民の意思が示されたものと受け止めております。

現在、国内外に重要課題が山積しておりますので、国政が停滞しないよう、直面する重要課題に、全力で取り組んでいただきたいと思います。

そうですね、合従連衡がどういうふうに進んでいくかということに注意深く見ていきたいと

思っておりますが、やはり国政が停滞しない様にさせていただきたいというふうに思っています。

また、県内についてということでございますが、私としましては、比例であると2名ぐらいは、当選していただきたいと思っておりますので、その点についてはちょっと残念に思っております。ですけれども、当選された4名の皆様に、心からお祝いを申し上げますとともに、県民の声と地方の実情、山形県の実情をしっかりと国政に届ける太いパイプ役を担っていただくことを強く期待しております。

記者

ありがとうございます。今のお話の中にも、与党にとって厳しい結果だということに国民の意思が示されたものと受け止めていらっしゃるっていうお話ありましたけど、具体的に言うと、国民のどういった声や感情が反映された結果だと思われるのかと、また、県内は、全体的な国内の結果とは、立憲民主党が議席を伸ばしている結果とは、また違った結果だと思うんですけれども、それもまた県民のどういった声や感情が反映されたものだっていうふうに捉えていますでしょうか。

知事

そうですね、一般的に言いまして、やはり全体的に見ましたらば、与党が大敗したということとはですね、これまで裏金といったことが大変大きく報道されておりましたし、国民にとって、それはちょっと許しがたいと言いますか、しっかりと反省をすべきだというようなお気持ちがあったのではないかといいふうに思っておりますし、本当にいろいろ驚くようなことがたくさんありましたので、きちんと、不正を行わないという、国会自身がですね、もっと国民のモデル足りうる、不正を行わないというようなことで、しっかり襟を正してほしいということだといふふうに思っています。

県内は本当にね、全国の動向とは違っていたなといふふうに思いまして、そこはどうしてなのかといふところまでは、ちょっと、しっかりと調査したわけでもなく、これは私的な見解ということになるかと思っておりますけれども、前職だった方々というのは、やはりそれなりに選挙民の皆様との信頼関係というものがおありになったのかもしれないと思えますし、あと、7月25日から26日にかけての過去最大の大雨災害というもので、やはり大変皆さんも被害を受けておられますし、また復旧・復興、これからというような時でありますので、そこをしっかりと取り組んでもらいたいといふことの表れだったのかなといふふうにも思っております。

記者

ありがとうございます。あと、最初の質問で、与党にとって厳しい結果ということで、自民・公明の議席が今回は全体で過半数割れしたということで、政権運営の仕方も今後変わると想定されていますが、県政への影響についてはどのようにお考えでしょうか。

知事

はい。そうですね、今、合従連衡の進行真っ最中という状況でありますので、どういうふう

に定まるのか、それを見極めていかないと県政への影響というのは、ちょっと読めないと思います。はい。しっかり注意深く見ていきたいというふうに思います。

記者

分かりました。ありがとうございます。

☆フリー質問

記者

山形新聞の鈴木です。おはようございます。

今の衆院選に絡みまして、本県の投票率が全国でトップ、5回連続トップだったと思いますが、知事の受け止めと、答えは出ないのかもしれませんが、山形が高い理由についてどのようにお考えか。もしくは、プラスアルファで課題があれば教えて下さい。

知事

はい。今、記者さんからご質問ありましたけど、本県の今回の投票率は、60.82%でありました。前回と比べて3.52ポイント低下とはなったんですけども、全国平均を6.97ポイント上回って、国政選挙では5回連続で全国第1位となったところです。

本県の有権者の皆様が、これからの国政を担う国民の代表者を選ぶという選挙の意義をあらためて認識していただいたものと受け止めております。

これまで、県や市町村の選挙管理委員会では、大学や高校への出前講座を行い、選挙制度や投票の意義の説明に加え、模擬投票などを実施するなど、特に若年層の選挙に対する意識の高揚に努めてきたということです。

また、ショッピングモールなど多くの人が集まる場所に市町村が期日前投票所を設置して、投票しやすい環境整備を行ったことで、約23万人という、有権者の約4分の1、26.3%が期日前投票を行い、有権者の選挙権行使に役立ったと聞いております。

選挙は、一人ひとりの有権者が政治に参加するための最も重要にして、かつ基本的な機会です。積極的な投票参加はまさに民主主義の根幹をなすものであります。

投票率、これは本当に重要なものでありますので、低下傾向にはあるのですが、有権者の皆様に、今後も選挙に対する関心を高めていただきたいと思います。

何よりも堅実で真面目な、本県の県民性の表れがあるのかなというふうに思っています。

記者

はい、ありがとうございます。もう1点、正式にはこれから大学が記者会見をして発表することになると思うのですが、山形大学が約20年振りに教育学部を再設置する方針だという話があります。県内でも教員不足というところの課題に直面しているわけですが、すいません、これから発表になるのかもしれませんが、知事として、その動きについてどのようにお考えか教えていただけますか。

知事

わかりました。私としましては、大変喜ばしい動きであるというふうに受け止めております。詳細はですね、これからということだと思っておりますけど、従前はですね、教育学部というのがあって、たとえば私、西高（補足：山形県立山形西高等学校の略称）出身ですけど、西高からたくさんの方が進学したんですよ。そして県内で教員としてたくさんの方がですね、残ったというのがありました。

ところが、中央のさまざまな事情だったり、文科省のいろいろな方針などがあったりして、山大（補足：山形大学の略称）から教育学部がなくなってしまったというのは、大変残念に思っております。ですが、今度復活というようなことをお聞きをしておりますので、やはり県内の多くの皆さん、あるいは県外からもいらしていただいて、そして、県内で教員としてですね、しっかりと定着をしていただき、人材育成に取り組んでいただきたいというふうに思っております。

記者

はい、ありがとうございました。

記者

NHKの岡野です。よろしくお願いいたします。

また、選挙の話になってしまうのですが、先ほど、知事、ご発言の中で、当選された4人にはですね、県民の声を国に届けてほしいということをおっしゃったのですけれども、特に今、直近の課題である豪雨からの復旧・復興に関して、これに関してはどういったことを具体的に期待されますでしょうか。

知事

そうですね。大雨・豪雨災害からの復旧・復興ということでもあります。今、さまざまな道路・河川・農地、土砂崩れとかいろんなことですね、災害査定中ですので、年内には何とか、その査定を完了して、できるだけ復旧・復興を1日も早く進めていきたいというふうに思っているところです。

そういう中で、やはり、政府との連携というものが非常に重要になってきますので、太いパイプ役としてですね、さまざまな政府との連携について、しっかりと協力をしていただけるようにしてもらいたいというふうに思っています。

戸沢村の蔵岡地区の件でもですね、さまざまな課題がありますので、そういったことについても政府とのつながり、太いパイプ役として、しっかりと一緒になって協力して取り組んでいただきたいというふうに思っています。

記者

ありがとうございます。

あと、もう1点なのですが、投票率がですね、国政選挙では5回連続日本一ということで、先ほども同じようなお話をしていただいたのですけれども、その中では、県民の堅実で真面目な県民性ということでおっしゃっているのですが、5回連続というのはなかなかないということだと思うのですけれども、知事にとってそのあたり、もう少しどういった要因があるかとかですね、あとは5回ということに対しての受け止めをあらためてお聞かせいただきたいと思います。

知事

そうですね、要因といったことはやはり、選挙管理委員会がしっかりと投票所に足を向けていただくことへの啓発ということを大変熱心に行ってきたということがあるかと思っています。県・市町村ともにですね、一生懸命取組んでこられたということがあるかと思っています。

そしてまた、本県の県民性ということも申し上げましたけど、三世代同居率が日本一高いということもあって、できるだけ子どもさんも連れて、子連れで投票しましょうというようなことも啓発されたということでもありますし、そういったことで、幼い頃からですね、投票するのは当たり前のことだというふうにも身に付いている方も今の有権者の中にもたくさんいらっしゃると思います。そういったことで良い投票の連鎖というものがね、本県には根付いているのかもしれないというふうにも思ったりしますね。他にもあるかもしれませんが、今考えられるのはこういったことかなと思っています。

記者

ありがとうございました。

記者

河北新報の奥島です。よろしくお願ひします。

こちらも衆院選なんですけども、自民のお三方、前職のお三方に加えて、今回、野党の衆議院議員というのが久しぶりに誕生したかなというふうに思います。自民の方々は政権とのパイプ役というのを知事も従前からおっしゃっていましたが、野党の衆議院議員が誕生したということについては、どんなことを知事としては期待されているのでしょうか。

知事

そうですね、中央のね、合従連衡がどういうふうに進むのかということともそれは連動してくるのかなと思いますけど、いずれにしてもですね、私が6人の方の事務所訪問を行いました。その心はですね、過去最大の大雨被害、そのことから復旧・復興に向けて、1日も早い復旧・復興を目指してですね、オール山形で、与党だ野党だと言っていられないという、本当にふるさとをしっかりとね、思っ取組んでいってほしいという思いであります。

ですから与党・野党というような区別を無くね、本当に郷土の、本県出身の政治家、国会議員となられましたので、やはりさまざまな取り組み方があるかと思っていますけど、あらゆる手段でしっかりとふるさとが1日も早く復旧・復興するように働きかけていただきたいというふう

に思っています。

記者

あともう1問、先ほどの時事通信さんの質問ともかぶるんですが、やっぱり今回、山形の結果がかなり全国の傾向と違うというところで、他の「保守王国」と呼ばれるような県でも自民が負けているような県もあって、どうしてなんだろうかと私自身も非常に興味深いなと思っているのですが、前職が強い土地柄なのか、保守が強い土地柄なのか、ご自身も知事選を戦われてきて県内の有権者事情というのはご存じかと思うんですけども、県の特徴ですとか土地柄に絡めて何か背景というのを、もしご見解をお持ちだったら伺いたいと思うのですが。

知事

いや、ちょっと、大変難しい御質問だと思います。衆議院はそうだったですけど、参議院についてはね、お二人とも保守系ではないというのがありますので、本県は本当に懐が深い、そういう県だなというふうに思っています。

だからあまりはつきり「これだから」というようなことはなかなか難しいのですが、どうということなのかなと、本当に選挙のたびにいろいろ考えますけどね、考えさせられると言いますか、ただ、やっぱり私が1回目の当選の時もね、やはり選挙民の、県民の皆さんがね、よく選んでくださったなというふうに思いますし、やはり、なんと言うのでしょうかね、大変難しい質問です。でも本当に県民の皆さんは一生懸命働いてくれる人を選ぶと言うとまた語弊があるのですが、何が1番のポイントなのかというのは、大変難しいです。衆議院は前職みな保守でしたけど、参議院がお二人ともそうでないというのがありますから、本当に難しいなと思います。

今回の選挙の結果、保守の方が3名、そうでない方が3名になりました。そういったことからですね、非常にいろいろバランスの取れたところもあるのかなとも思いますし、一概に「保守王国」という一言では括れないのではないかなというふうに思っていますね。

記者

共同通信の中村です。

29日に東北電力の女川原発が再稼働しましたが、東日本大震災の被災地では初めて原発が再稼働するという事で、東北の一県として山形県の知事の受け止めも教えてください。

知事

はい。東北電力が女川原子力発電所2号機の再稼働に向けて原子炉を起動したことは承知をしております。

福島第一原発の事故から13年が経過しております。それでもなお、いまだ全国で約3万人の方が避難生活を余儀なくされています。本県にも1,000人を超える避難者の方がいらっしゃいます。原子力発電につきましては、こうした福島の悲惨な事故を決して忘れることなく、安全を最優先とすることが大前提であると考えております。

原子力発電所の安全性確保につきましては、政府の原子力規制委員会による厳正な審査・確認のもと、事業者である東北電力が、決して事故が起きることのないよう万全の対策を不断に講じなければならないものでありますとともに、万が一の事態にも備えて、周辺住民の皆様の安全が確保されるようにしておかなければならないというふうに思います。

また、原子力政策ですけれども、我が国は世界有数の地震国であります。そして放射性廃棄物の最終処分場も決まっておられません。テロの危険性もあります。そういった多くの課題があるということで、その他にも燃料のウランも輸入に頼っているという現状であります。

こうしたいろいろなことを踏まえて、安全で純国産のエネルギーであります再生可能エネルギーへの転換を着実に進めながら、将来的には原発への依存度を徐々に少なくして行って、ゆくゆくは原子力発電に頼らないという社会を目指す必要があるというふうに考えております。

記者

安全が確保されるようにしなければならないとのお言葉がありましたが、まだその件や東北電力の避難計画に関しては住民の方からは不安の声がありまして、山形県にも実際に避難されてきた方が多いですが、この避難計画に関してはどういうふうに考えていらっしゃるでしょうか。

知事

そうですね、やっぱりその避難計画というのは宮城県でありますとかね、然る地元でありますとか、避難計画を作られているかと思うので、そちらのほうについてはコメントは差し控えさせていただきますけれども、とにかく一旦事故が起きてしまうと大変悲惨な状況になるということではですね、13年前に、歴史的に見れば13年なんてあっという間ですから、そういう現実が起きたわけありますので、しっかりとそれを踏まえて、常に不断に安全性を確保していただくということが大事だと思います。

やはり住民の皆さんの不安を払拭するようにですね、しっかりと安全性を確保していただきたいと思えますし、隣県である山形県にも風の吹き方次第でどういうふうな影響があるか、本当にチェルノブイリの時はですね、ヨーロッパのほうにまで風とともに放射線が流れていったというふうに承知をしておりますので、本当に怖いものだなという認識があります。やはり常に安全性確保を怠らないでしっかり取り組んでいただきたいというふうに思っています。

記者

時事通信の海老沼です。

また衆院選の質問に戻るんですけども、投票率について、県内は全国トップになりましたけど、前回よりは少し低下した、これは全体的な低下傾向というのもあるとは思いますが、県内ですと自民党の前職の議員さんたちも裏金問題で問題になった議員ではなかったということで、全体的には裏金問題への批判とかそこら辺が論点になった選挙だとは思いますが、政策についての議論があまり進まなかったのかなという、有権者に対して見える形というのが

ちょっと不足していたのかなというのを私個人として思うところではあったんですけども、知事もそういう投票率の低下に、県内、裏金の問題というところではなかなか県民の関心があまり向かなかった、そういったところのお考え、どうなのかなというのと、あとは、今後地方に対してはどういった政策を、復旧・復興、大雨についてが県内では最大の課題だとは思いますが、それ以外についてもどういった政策を期待されるのか、あらためて教えていただけないでしょうか。

知事

そうですね、投票率の低下傾向というのは全国的なものでありますし、本県についても同様であります。投票というのはですね、民主主義の根幹ともなる大切な選挙権の行使ということですので、やはり権利意識をしっかり持って投票していただくということが大事かなと思いますし、どうして低下傾向なのかということは、やはりここがそのポイントだということなことでまではわかりませんが、政治不信みたいなものはあったのかなというふうの一つは思います。

あと、非常に短い、短期決戦と言いますかね、本当に短い時間の間の選挙でありましたので、なかなかいろいろなお考えとかビジョンとか信条とか、いろいろなものが浸透しきれなかったのかなというふうにも思います。本当にいろいろなことが重なったのかなというふうにも思いますけども、いずれにせよその選挙というものは終わりました。それで、国会議員の方も決まりましたので、しっかりとですね、まずは本当に大雨災害からの復旧・復興というのが大事でありますけれども、米沢トンネルですね、仮称ですけど、そういった未来志向のことについても一歩一歩着実に前に進むようにということを期待しておりますし、私ももちろんしっかり取り組んでいきたいと思っておりますし、あと、本当に県民の皆さんの、物価高騰が長期化しているとかですね、価格転嫁できないとか、賃金を上げていくと、働き方改革とか、本当にさまざまなことがありますので、あと、国ですから対外国と言いますかね、そういった外交政策も私は本当に大事なところだと思っています。

国政と言ったらやはり国民の幸せと国土の保全、発展ということが大事だと思いますので、そういった大切な命題ということをお忘れすることなくですね、しっかり取り組んでほしいと思いますし、本県選出の国会議員の皆さんには本県の実情といったものをしっかりとつぶさに見ていただき、知っていただき、そして県民の声、山形県の事情といったことをしっかりと中央に届けていただくことを強く期待しております。